

Be ambitious!

2020. 7. 9 (木) 発行

兵庫県立有馬高等学校 第73回生 3学年通信 第2号

全体登校が始まって3週間・・・

新型コロナウイルスによる休校が思いのほか長引き、とうとう夏休みの期間を上回ってしまいました。その間、学びをストップしないための策が講じられましたが、今回のことで対面授業がいかに大切なのかを改めて感じたのではないのでしょうか。休校が明け、登校してきた皆さんを見てみると、“いざという時に対してどのように行動しなければならないか”をまじめに考えてくれている様子を伺うことができました。

しかしあれから3週間。最近は気の緩みも見え隠れし、あの大変だったことが忘れ去られているようで、こちらとしては気がかりです。

勘違いしていませんか？ 就職組も進学組も大変なのはこれからです。

今一度、自分の掲げた進路を思い返しましょう。自分にとっての目標は、今易々と手に入るものではないはずです。どうなるかわからないから「目標」なのです。そして、苦労した先に今までの努力が報われるといった類のことばが多くの人によって語られ続けているということは、ぎりぎりのところを目標にして頑張るのが、生きていく上で善いことだという証拠ではないのでしょうか。

「インスピレーションは、確かに人間の特権だが、誰でもいつでも生まれるものではない。考えに考え、あらゆることを試み、ぎりぎりのところまで自分を追い込む努力をした人間のみ与えられるものだ」

これは今から約50年前、かつてないタイプの自動車のエンジン開発の陣頭指揮を執った山本健一が発した言葉です。小型で軽量、しかもハイパワー。「そんなエンジンを作るのは不可能！」と言われ続けても、作らなければならない理由が会社にはあったそうです。当時の社長の思いを知った山本は、二度と弱音を吐くまいと心に誓い、開発チーム47人のリーダーとして仕事にあたったのだそうです。

努力は成果に結びつき、自動車は1967年に発売されました。他にも多くのメーカーがこのタイプのエンジンの研究開発を行っていましたが、量産できたのは山本たちの会社だけでした。その後、このエンジンを搭載したレーシングカーで世界的な自動車レース「ル・マン 24時間耐久レース」に挑戦し、日本車初の総合優勝まで果たします。

“世界で唯一のものを作った”という誇りが会社にはあるようですが、過去の栄光に甘んじているわけでもありません。もっといいものを作るための研究が今でも続いているのだそうです。

人間が輝きを持つためには「こだわり」を失ってはいけなような気がしませんか？

今は辛いときですが、現在の困難に精一杯挑んでください。まずは7月考査から。

いいことがあると信じて…

7月の予定(7/5以降)

当面の予定をピックアップしています。参考にしてください。

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10 期末考査① 就職保護者会	11
12	13 期末考査②	14 期末考査③	15 期末考査④	16 期末考査⑤	17 1・2限:特編 3限~:模試	18 GTEC
19 模試	20 特編授業	21 球技大会 進学入試説明会	22 1~3h:特編 4h:人権 HR	23	24	25
26	27 特編授業	28 特編授業	29 特編授業	30 特編授業	31 全校清掃 全校集会 LHR	8 / 1

今さらであるけど...

夏休みに入るまでに通常だと2回の定期考査がありますが、今年は1回しかありません。体調を整えて休まずに臨みましょう。

保護者のみなさまへ

次の会につきましては、ご多忙の中ではありますがよろしく申し上げます。

7/10(金) 就職保護者会…就職希望者とその保護者のみなさまを対象とする集会です。

時 間：11:00~12:30

場 所：清陵会館研修室

7/21(火) 保護者対象入試説明会…保護者のみなさまを対象とする大学・短大の説明会です。

時 間：15:30~16:30

場 所：講義棟

近頃めっきり夏らしくなりました。今年もハンディタイプの扇風機をあちこちで見えるようになりました。まだまだ暑くなるでしょうが、暑さの中でもコンスタントに勉強する習慣をつけてもらおうとありがたいです。いきなり夏休みに勉強時間を増やそうと意気込む人はいますが、大抵は体が暑さに負けてうまくいかないものです。一步一步着実に行動することが例年に増して求められています。

